

令和6年（2024年）度行政評価シート【個表】

令和 6 年 8 月 2 日

評価対象事業		評価者	都市計画課担当課長 大江 尚	
まち-12	新交通システム等整備事業	☒ 自治事務	主管課	都市計画課
重点事業		☐ 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	5-(3) 総合交通	施策の方針	5-(3)-①交通環境の整備

1 事業の目的

対象	市民等
意図	安全で快適なまちをめざした交通環境をつくりだすため。
効果	次世代型のモビリティを見据え、高齢者、障害者、子どもなど交通弱者に配慮し、すべての人にとって快適な移動環境を創造する。

2 令和5年(2023年)度を実施した事業の概要

・交通不便地域等において、新たな交通システムの導入に向けた準備を行った。

3 事業を構成する事務事業(最小事業)実績

枝番号	事務事業	実施した主な事業 (主な経費等)	指標(単位)	令和5年度		令和6年度	達成度
				指標(実績値/目標値)		指標(目標値)	
				事業費(決算/当初)(千円)		予算額(千円)	
01	新交通システム等整備事業	新たなモビリティサービスの検討・運用業務委託等	新たな交通(移動)システムや手段を導入した地区数(地区)	0	3	3	0
				2,823	3,667	3,648	
		財源内訳	国県支出金	1,583	0		
			地方債	/			
			その他特定財源	/			
			一般財源	1,240	3,667	3,648	
			事業費の合計(千円)	2,823	3,667	3,648	
			人件費(千円)		10,634	7,793	

4 この事業に関わる職員数(毎年度4月1日時点)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
正規職員等	1.1	1.3	1.2	1.4	1.0	
会計年度任用職員	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

5 評価結果

(1) 最小事業評価

枝番号	事務事業	指標分析の推移、目標未達の理由	上位施策にどう寄与したか、構成する事業としての妥当性	事業実施上の課題、改善点
01	新交通システム等整備事業	市内の交通不便地域等の解消を指標としている。令和5年度は二階堂地区において同地区社会福祉法人が地域貢献の一環としてデイスサービス送迎車の空き時間を活用して、地域の方が無料で利用できる乗り合い車の運行が始まっている。	新たな交通システム等の整備は、基本計画で目標とする「鎌倉らしい交通環境整備」に必要な取組であり、構成する事業としては妥当である。	新たな交通システム等の整備にあたっては、地域特性に応じた持続可能な仕組みを構築する必要がある、そのためには、利用者・住民、交通事業者等の関係各者間での協議・調整が課題である。

(2) 視点別評価

効率性	事業費の削減余地はないか	2 事業費の削減が検討できる事業がある	
	事業の外部化(民営化・業務委託等)はできないか	2 外部化に向けて検討できる事業がある	
	関連・類似する事業の統合はできないか	3 統合できる事業はない	
妥当性	各事業の実施に対する市民ニーズはあるか	1 市民ニーズは変わらずにある	
	民間によるサービスで代替できる事業はないか	2 民間によるサービスで代替できる事業はあるが、民間による提供が不足している	
有効性	事業の上位施策に向けた貢献度はどうか	2 目的達成のために手段(最小事業)を改善する余地がある	
公平性	受益者負担は公正・公平か	△.負担未導入	△-1 今後、負担の導入を検討すべき事業がある
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	○.協働実施済	○-1 市民等と協働して事業を実施しているが、協働のあり方等の見直しが必要な事業がある
		協働実施済の場合のパートナー	社会福祉法人

(3) 総合評価 ※最小事業評価を踏まえて、今年度以降の取組方針等を記載する

【今後の方針】	☐ 拡充	☐ 改善・変更	☐ 現状維持	☒ 縮小	☐ 休止・廃止
・市内各地域において、地域の高齢化等を理由に路線バスの「路線の新設」や「運行本数の増便」等のニーズが高まっている一方、交通事業者は運転手不足等から利用者・住民のニーズに対応できていないことから、新しい交通システム等の整備が必要とされている。 ・社会福祉法人が地域貢献の一環として、デイサービスへの送迎車の空き時間を活用して、地域の方が無料で利用できる乗り合い車の試験運行を始めたことから、このサービスの運行状況を踏まえつつ、社会福祉法人と連携を図りながら、他地域を含めた今後の進め方を検討する。					

【参考】

◎事業実施に係る主な指標

指標(単位)	新たな交通(移動)システムや手段を導入した地区数						単位	地区
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
交通不便地域の解消など、交通弱者に配慮した快適な移動環境を創造するため、新たな交通(移動)システムの導入を目指しているため。	目標値	0	1	2	3	3		
	実績値	0	0	0	0			
	達成率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%			

指標(単位)							単位	
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
	目標値							
	実績値							
	達成率							

◎他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項								
団体名	鎌倉市							
他市実績								

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	
----------------------	--